

記録
35ミリ
カラー／46分

- 企画
貯蓄増強中央委員会
- 現地協力
ハワード・照子

スタッフ

- 製作・脚本・演出
村山英治
- 撮影
江連高元
- 撮影助手
田中 行
- 助監督
遠藤 明
- 編集
沼崎梅子
- 録音
岡崎三千雄
- 音楽
間宮芳生
- 解説
滝沢 修

文部省特選〔推薦〕優秀映画鑑賞会 日本PTA全国協議会 全国
地域婦人団体連絡協議会 1967年文部省青少年映画賞 第18回東京
都教育映画コンクール銀賞 1967年教育映画祭特別賞



イギリスの顔ともいうべきロンドンの素描からこの映画は入っている。ロンドンには広い公園が多い。それが市民の生活によく溶け込んでいる。

イギリスは地方の生活がいいといわれている。私たちはロンドンから北へ160キロ、古くからひらけた農業地帯、ノオフォーク地方の古都、ノオリッチ市に腰を据えた。中世には都市国家として栄えたところで、城壁や城門の跡が今も残っている。市の中心の広場では今も毎日、朝市が立っている。その広場を見下ろす位置に商工業者の組合の古い建物が残り、その斜交い^{はすか}に今の新しい市役所が建っている。エリザベス時代のままと古い石畳の坂道（エルム・ヒル）があり、その先のゴシック建築の大寺院（カシードラル）は見ものだが、ここに教会付属の大きな養老院がある。日本でいえば鎌倉時代から延々と続いているような養老院で、今も老人たちが大勢いる。イギリス人は古いものをこよなく愛する。

階級制度も生きている。労働者階級と中産階級の人々とその家族をいくつか紹介し、貴族階級の家と生活ぶりにもふれる。城壁の外には産業革命時代からの赤煉瓦の労働者住宅があり、今も人々が静かに暮らしている。中産階級の人々には、社会に奉仕する精神も伝統的に受け継がれている。

イギリス人は保守的だが、思い切った改革もするといわれる。それも垣間見ることができた。私たちは、ホリディーの季節のノオフォーク地方に別れを告げる。